

## レトロモダンなまち

# み ささ 三 篠

### 〔地名の由来〕

明治になるまで安芸国沼田郡新庄村と呼ばれていた。明治31年(1898年)に沼田郡が安佐郡に代わり、明治40年(1907年)に合併を経て三篠村と呼ばれるようになった。

### ① 日本最初のバス発祥の地 横川

明治38年(1905年)に日本初の乗り合いバスが横川で発祥したと言われている。平成16年(2004年)、バスはボランティアの手で歴史資料をもとに忠実に復元され、横川の地域おこしの起爆剤



復元されたバス

となった。復元されたバスは、当時、可部ー横川間を走ったことからそれぞれの頭文字をとって「かよこバス」と呼ばれ、地域のイベントなどに活用されている。現在、全面改修された横川駅前広場に展示中。マップE-3

### ② 楠木の大雁木

雁木とは、かつて江戸時代から昭和にかけて運搬船などの船着場として利用されていた川の護岸の石段のこと。当時ここは、太田川流域における最大の貨物陸揚場として栄えていた。戦前までは、横川駅から引き込み線が引かれ、舟運と連絡されていたようである。



マップE-3

### ③ 樹齢およそ500年 大宮の夫婦楠

新庄之宮神社境内の社叢は、広島県の天然記念物に指定されている。夫楠は、幹周6.5m。婦楠は、幹周5.5mで、およそ大人8人が手をつないで1周となる。高さは二本とも約30m。



マップE-2

### ④ 聖ヶ丘

マップD-2

昭和12年(1937年)に親鸞聖人像が建立されたが昭和20年(1945年)に被爆し、昭和30年(1955年)に平和のシンボルとしてニューヨークに移設された。代わりに童形が安置されていたが、それも広島別院へ移設され、現在では台座のみが残る。



### ⑤ 歯痛地藏

マップD-2



呼称の由来は、痛む歯を、この地藏堂の脇に植えられている松の葉で突いてお願いすると歯の痛みがとれるという俗説からきている。

### ⑥ 日涉園跡

マップD-2



広島藩の藩医であった後藤松眠が、藩命により寛政10年(1798年)に藩の薬草園として開園。高野長英ゆかりの地として昭和62年(1987年)に市指定史跡となった。

現在は広島大学医学部に寄贈されている。昔の形をとどめる「藩の薬草園」は全国でもここだけである。

### ⑦ 宗箇松

マップD-2

この松は、江戸時代、広島藩主浅野家家老で茶人でもあった上田重安(号を宗箇)が、自身の茶室から眺めるために宗箇山山頂に植えたといわれている。現在の松は、4代目で平成10年(1998年)に植栽された。

